

平成30年度放課後子ども教室に向けて

1 放課後子ども教室周知方法について

(1) 従来の周知方法

例年、各小学校の入学説明会時に、放課後子ども教室の案内のチラシを配布していた。

しかし、チラシの内容は基本的なことの記載のみであるため、事業の内容がわかりにくく、保護者（特に、新一年生）には不親切ではないかという意見があった（西小コーディネーター及び指導員より）。

(2) 改善点

入学説明会で配布するチラシに、各放課後子ども教室毎の日々の様子がわかるチラシを添付した（資料2-1）。

(3) 結果について

各校とも申込み数が増加した。詳細は以下のとおり。

	平成29年度 当初申込み数	平成30年度 当初申込み数	増加人数
西小学校	73	105	32
南小学校	132	151	19
東小学校	64	94	30

周知に効果が認められたため、来年度以降も実施する。

2 登録児童・保護者へのアンケートについて

(1) 目的

放課後子ども教室に登録している児童及び保護者の満足度や課題を知り、今後の事業運営の参考とするためにアンケートを実施した。

(2) 結果について

資料2-2のとおり

5 体験プログラム（40～50分）について ※平成29年度に実施したもの

体験活動	回数	体験活動	回数
英会話教室	月2回	童話朗読	月1回
アロマセラピー	月1回	手品ショー	3か月に1回
キッズミュージック	月1回	かんバッジ作り	2か月に1回
絵手紙教室	月1回	伝承玩具作り	3か月に1回
つまみ細工	月1回	茶道教室	年3回
紙芝居の会	月2回	伝承遊び	年4回
映画の会	月1回	四季の大会行事	年4回
ボール運動	月1回	文字名人	年3回
将棋教室	月2回	人形劇鑑賞会	年1回
紙工作（折り紙）	月1回	音楽デリバリー	年1回
畑の野菜作り	夏野菜	トマト作り	4月～8月
	冬野菜	大根作り	9月～1月

(すべて無料です)

6 放課後子ども教室コーディネーターより

私たち西小放課後指導員はこんな願いを持っています。



育てたい子どもの姿

- ① 放課後子ども教室の様々な体験活動や学習を通して、自分に「できた」という成就感を抱かせることにより、自分に「自信」の持てる子を育てる。
- ② 放課後子ども教室の様々な体験活動や継続的な学習を通して、自ら考え、正しく判断し、進んで行動できる 賢い子 を育てる。
- ③ 放課後子ども教室に来ていただいた様々なボランティア講師の方々とのふれあいを通して、様々な分野の知識や技能の習得とともに 謙虚に学ぶ心 を育てる。
- ④ 放課後子ども教室での同学年及び異学年との協力し合う活動を通して、集団生活のルールを学び、交友の輪を広げ、お互いに協力し合える子 を育てる。

《参加をお待ちしています》

西小学校放課後子ども教室について

1 はじめに

平成29年度は84名の児童が放課後教室に登録し、参加したい日を決めて参加しています。普段は約20名～30名が参加しています。毎週3～4日多種多様な体験活動を取り入れていきます。また、学習時間は毎日確保し、自分から進んで学習する姿勢を身につけています。

2 放課後子ども教室の過ごし方

① 通常日課（下校後参加する場合）

14:45	14:55	15:25	16:00	16:30	16:40	16:50
準備	学習時間	自由時間	外遊び	清掃	下校準備	

15:35	15:40	16:00	16:30	16:40	16:50
6時間授業時	準備	学習時間	外遊び	清掃	下校準備

② 体験プログラム日

14:45	14:50	15:10	15:15	16:05	16:35	16:40	16:50
準備	学習時間	移動	体験プログラム	外遊び	清掃	下校準備	

15:35	15:40	16:10	16:35	16:40	16:50
6時間授業時	準備	体験プログラム	学習	清掃	下校準備

③ 長期休業日（夏休み等）

13:30	13:40	14:30	15:15	16:00	16:30	16:40	16:50
準備	学習時間	自由時間	体験プログラム	外遊び	清掃	下校準備	

3 放課後子ども教室の約束事

- ① あいさつをしっかりとる・・・〈礼儀正しく〉
- ② 時間を守る・・・〈規律ある生活〉
- ③ 学習は座って静かにする・・・〈学習する習慣〉
- ④ 使ったものは片付ける・・・〈責任ある行動〉
- ⑤ 嫌なことはしない、されない・・・〈思いやりの心〉

4 体験活動の様子



(トマトの収穫)

夏野菜作りを行いトマトをたくさん収穫しました。



(キッズミュージック)

峯先生がいろいろなストレッチやダンスを教えてくださいます。



(ボール運動)

みんなでドッジボールやサッカーのゲームをして楽しみます。



(缶バッジ作り)

図案を考え、自分だけのオリジナルな缶バッジを作ります。



(茶道教室)

抹茶を点ておもてなしの作法をお茶の先生から学びます。



(絵手紙教室)

季節感のある絵手紙をいつも2枚描きあげています。



(将棋教室)

本将棋のこまの動かし方を学び、将棋大会もします。



(けん玉大会)

けん玉の受けに何回載ったかで競い合い、賞を決めます。



(英会話教室)

毎月2回講師の先生を招き、英語に親しんでいます。



(アロマテラピー)

金子先生の香りを楽しめるキッズで、いろいろな作品を作ります。



(童話の朗読会)

外国の童話や日本の昔話の読み聞かせを行っています。



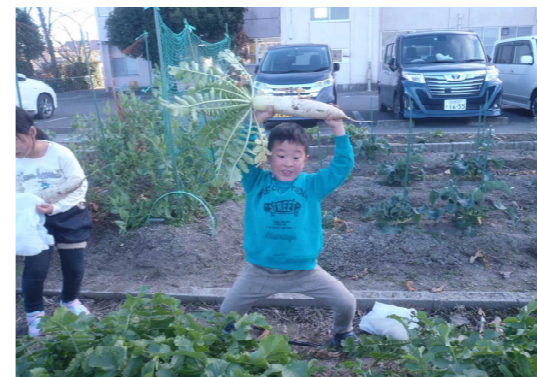
(紙芝居の会)

毎月5冊中央図書館より紙芝居を借りてきて行っています。



(人形劇鑑賞会)

愛知県立大学人形劇サークルの学生が劇を行ってくれます。



(大根の収穫)

”とったぞー”9月に種を蒔き12月～1月に収穫しました。



(プラバン作り)

プラスチックのいたを焼いて作った自分だけのプラバンです。

5 体験プログラム（40～50分）について ※平成29年度に実施したもの

(1) 外部講師によるもの

絵手紙教室	月1回
キッズダンス	
アロマテラピー（アロマ体験）	
つまみ細工（つまみ細工の体験）	
絵画教室	
読み聞かせ	
こま教室（こまを回して遊ぶ体験）	月2回
将棋教室	
おもしろ科学教室	3か月に1回程度
伝承玩具（玩具作り）	
お抹茶体験（お抹茶の体験教室）	年2回程度
防災教室（あいち防災リーダー会による防災教室）	年1回
人形劇（愛知県立大学の学生による人形劇鑑賞）	

(2) 放課後子ども教室指導員等によるもの

指導員が考えた体験教室	週に1回程度
-------------	--------

(3) 放課後子ども教室の子どもたちが考えた体験

子どもたちの発想を取り入れ実施する体験	週に1回程度
---------------------	--------

6 放課後子ども教室コーディネーターより

放課後子ども教室という存在は、学校の施設を活用して子どもたちの居場所を確保し、異学年集団で楽しい時間を作り出します。指導員たちは、子どもたちが安心して活動し、創造する力を育む手助けをしています。

放課後子ども教室の流れ

- ・まずは【こんにちは】帽子、水筒を籠に入れる。
- ・参加票を提出、ランドセルをロッカーに入れる。
- ・整列して今日の予定を確認する。
- ・体験活動・学習タイム、自由タイム（後片付け）
- ・帰日も笑顔で【さようなら】

育てたい子どもの姿

あいさつをしっかりし、時間を守り、話は静かに聞く。自分が使ったものは自分で責任を持って片付ける。そして、人を傷つけることは言わないという放課後子ども教室の約束事を守れる子を育てます。

様々な特技を持った講師の方や指導員のもとでいろいろな体験をし、豊かな人間性を育てていきます。興味を持たれた方はぜひ御応募ください。

南小学校放課後子ども教室について

1 はじめに

平成29年度は、66名の児童が放課後子ども教室に登録し、参加したい日を決めて参加しています。様々な「体験プログラム」と呼ばれる体験活動を取り入れています。また、毎日学習の時間を確保し、自ら進んで学習する姿勢を身につけています。

2 放課後子ども教室の過ごし方

(1) 通常日課（下校後参加する場合）

14:50	15:00	15:20	16:00	16:40	16:50
準備	学習タイム	体験タイム	自由タイム	片付け	下校準備

15:40	15:45	16:05	16:40	16:50
準備	学習タイム	自由タイム (体験タイム)	片付け	下校準備

6限授業時

(2) 体験プログラム日

14:50	15:00	15:40	15:50	16:10	16:40	16:50
準備	体験タイム	移動	学習タイム	自由タイム	片付け	下校準備

15:40	15:45	16:20	16:40	16:50
準備	体験タイム	学習タイム (自由タイム)	片付け	下校準備

6限授業時

(3) 長期休業日（夏休み等）

13:30	13:40	14:00	15:00	16:00	16:40	16:50
準備	学習タイム	体験タイム	自由タイム	外遊び	片付け	下校準備

3 放課後子ども教室の約束事

- (1) あいさつをしっかりする・・・〈礼儀正しく〉
- (2) 時間を守る・・・〈規律ある生活〉
- (3) 話は静かに聞く・・・〈学習する習慣〉
- (4) 使ったものは片付ける・・・〈責任ある行動〉
- (5) 人を傷つけることは言わない・・・〈思いやりの心〉

4 活動の様子

《外部講師による体験活動》



【人形劇】

愛知県立大学人形劇サークルの学生が劇を行ってくれます。



【伝承玩具】

伝統的なおもちゃをみんなで作ります。



【キッズダンス】

いろいろなストレッチやダンスを教えてくださいます。



【絵手紙教室】

季節感のあるモチーフを観察しながら絵手紙を描きます。



【絵画教室】

絵の描き方の基礎を学びます。



【キッズ防災】

防災の知識を子どもでもわかりやすく学びます。



【こま教室】

伝統的な遊びのひとつであるこま回しを体験します。



【将棋教室】

本将棋のこまの動かし方を学び、将棋大会もします。



【おもしろ科学教室】

不思議な科学の世界を体験します。



【抹茶教室】

抹茶を通して、おもてなしの作法をお茶の先生から学びます。



【アロマテラピー】

香りを楽しめるキットで、いろいろな作品を作ります。



【つまみ細工】

伝統工芸のひとつであるつまみ細工を体験します。



【読み聞かせ】

心のこもった朗読を聞きます。

《指導員による体験活動》



【手芸教室】

かわいい小物をみんなで作ります。



【工作教室】

身近な材料を使ってみんなで工作をします。

5 体験プログラム（40～50分）について ※平成29年度に実施したもの

(1) 外部講師によるもの

絵手紙教室	月1回
キッズダンス	
アロマテラピー（アロマ体験）	
つまみ細工（つまみ細工の体験）	
手話教室	3か月に1回程度
おもしろ科学教室	
伝承玩具（玩具作り）	年3回程度
茶道教室	
防災教室（あいち防災リーダー会による防災教室）	年2回程度
人形劇（愛知県立大学の学生による人形劇鑑賞）	年1回

(2) 指導員等によるもの

指導員が考えた体験教室 （工作・読み聞かせ・紙芝居・コンテスト等）	週に1回程度
--------------------------------------	--------

(3) 子どもたちが自分たちで考えた活動

子どもたちの発想を取り入れ実施する体験	週に2回程度
---------------------	--------

キッズダンス、紙芝居、おもしろ科学教室等は東児童クラブと合同での体験プログラムです。

6 放課後子ども教室コーディネーターより

東小学校放課後子ども教室では、「学年の異なる集団でいろいろな体験の時間をつくりだし、その時を過ごす。」を目標にしています。時間の過ごし方は、学校生活の諸きまりに準じますが、教科の時間割等の強制はしません。各自で活動内容を考え実施することとします。ここでは各自の日常の生活とは異なる空間と時間を友達と共有することが可能になります。基本的には、各人の過ごし方を大切にします。が、集団生活の一員としての役割を果たすことも同時に求めます。チャレンジの時間でも、個人の活動を大切にします。何をするのか目的意識を強く持つことが必要になります。目的意識のある子どもさんの活動は、自信にあふれ、表情も豊かです。指導員等は、子どもたちが放課後子ども教室内で安心して活動をし、創造する力を育む手助けをします。使用施設は、多目的教室・男女トイレ・プレーゾーン・運動場等が主たるものです。

長久手市中央図書館から毎月図書25冊・紙芝居5部をお借りしています。

昨年度病院等でお世話になる状況はありませんでした。保護者の方からは「友達がいるからいい。」等の声もありました。

講師の方々はボランティア活動での指導です。市民の方の「子ども見守り」で参加もいただいております。お時間がありましたら、ぜひ参加をお願いします。

東小学校放課後子ども教室について

1 はじめに

平成29年度は、約60名の児童が放課後子ども教室に登録しています。日々、様々な「体験プログラム」と呼ばれる体験活動を取り入れており、学習の時間を確保しつつ、自ら進んで様々なことに取り組む姿勢を大切にしています。

2 放課後子ども教室の過ごし方

(1) 通常日課（下校後参加する場合）

14:55	15:05	15:30	16:00	16:30	16:40	16:50
準備	学習の時間	チャレンジ	自由の時間	清掃	帰宅準備	

15:50	16:00	16:30	16:40	16:50
6限授業時		準備	自由の時間	清掃 帰宅準備

(2) 体験プログラム日

14:55	15:05	16:00	16:30	16:40	16:50
準備	体験プログラム	学習の時間	清掃	帰宅準備	

(3) 長期休業日（夏休み等）

13:30	13:40	14:30	15:10	16:00	16:30	16:40	16:50
入室	準備	学習の時間	チャレンジ1	チャレンジ2	自由の時間	清掃	帰宅準備

（チャレンジ1…子どもが考えた体験活動 チャレンジ2…友達との交流に重きをおいた活動）

3 放課後子ども教室の約束事

- (1) あいさつをします
- (2) じかんをまもります
- (3) ことばづかいにきをつけます
- (4) がくしゅうはすわってしずかにします
- (5) つかったものは、せいとんをします
- (6) いやなことはしません・されません

4 活動の様子



【絵手紙教室】

今年のまとめの作品「年賀状」です。郵送するより大切にとっておきたい……。



【キッズ・ダンス】

踊って踊って 雪に見立てた新聞紙が舞い、大雪になる雰囲気です。



【おもしろ科学教室】

「う～ん、う～ん」この長い袋を膨らませるにはどうすればいいのだろう？



【茶道教室】

心をこめてお茶を立てますが、茶筌の使い方が難しくって……



【アロマテラピー】

「この香りが一番私は好きです。」「なかなかいい香りになりそうですね。」



【つまみ細工教室】

木製の洗濯ばさみの上に布をつまんで作ったアジサイが……そしてカタツムリ……



【防災教室】

仮想地震で崩れた石の上を新聞紙のスリッパで歩くのも大変です。



【人形劇】

県立大学のサークルの皆さんによる人形劇の公演です。



【手話教室】

講師の方の手本を見ながら「犬」の手話を習っています。



【指導員と独楽】

独楽に紐を巻くのがちょっと難しいけど……できるとよく回ります。



【指導員とクリスマス】

牛乳パックとかさ袋で 季節の作品に挑戦です。膨らますと完成です。



【指導員による読み聞かせ】

真剣に聴きます。指導員の主人公の雰囲気をかもし出す声が教室に響きます。

放課後子ども教室アンケートの主な結果について

1 回答数について

学校名	送付家庭数	回答	回答率
西小学校	74	45	61%
南小学校	51	41	80%
東小学校	50	39	78%
合計	175	125	71%

2 アンケート結果について

(1) 利用目的について

- ・本来の趣旨である「子どもに様々な体験をさせる」が3校とも最も多かった。(77%)
- ・次に多かったのが「保護者が就労しており、子どもの預け先として利用するため」であり、就労家庭の預かりの役割も担っていることが明らかとなった。(58%)

(2) 利用頻度について

- ・月に8回以上若しくは4回から7回(週に1回程度)という回答が多く、概ね半数程度が定期的に利用している。
- ・また、東小学校の出席率が月8回以上の利用が全体の56%、月に4～7回の利用も合わせれば78%と、他の教室に比べて特に高いことがわかった。

(3) 利用しない理由

- ・「習い事や他の用事があるから」が3校とも最も多かった。(73%)
- ・南小の特徴として、「保護者の仕事が休みなど、預ける理由がないから」の回答が多く(39%)、本間においても、就労家庭の預かりを担っていることがわかる。

(4) プログラムについて

- ・「体を動かすもの」や「工作などの物作りのプログラム」、「クイズやパズル等」の要望が高く、学習についての要望は、保護者・児童ともに低かった。

(5) 長期休暇中の利用について

- ・長期休暇中に参加したことがない割合は、西小と南小がそれぞれ4割、東小が6割。
- ・利用しない理由は、3校とも「開室の時間が生活に合わないから」が最も多く(34%)、次に「送ることができないから」が多かった。(23%)

3 課題の把握について

(1) 利用目的から

- ・本事業の本来の目的である体験の場としてのニーズが高い一方、就労家庭の預かりの場としての利用も多く、放課後の居場所に関する類似事業とともに、中長期的な視点で事業形態の再検討が必要と考える。

(2) 長期休暇中の利用実態から

- ・長期休暇中の利用について、参加経験、参加意向ともに高いとは言えないが、保護者が「送る」ことが困難な生活実態が見受けられることから、弾力的な運用について検討する必要がある。

放課後子ども教室保護者アンケート

(比率は回答÷今回の回答者数で算出)

問1. 放課後子ども教室の利用目的について、当てはまる項目すべての番号に○をつけてください。

回答項目	西小	南小	東小	総計
1. お子様に様々な体験をさせるため	67%	83%	82%	77%
2. お子様が参加したいと言ったため	44%	37%	51%	44%
3. お子様の友人がいるため	24%	50%	46%	25%
4. 保護者が就労しており、お子様の預け先として利用するため	47%	66%	62%	58%
5. 保護者は就労していないが、お子様の預け先として利用するため	18%	10%	36%	21%
6. その他	11%	7%	13%	10%

問2. 月に何日程度利用しますか。当てはまる項目の番号に○をつけてください。

回答項目	西小	南小	東小	総計
1. 月に8回以上(週に2回以上)	36%	49%	72%	51%
2. 月に4回から7回(週に1回程度)	36%	37%	28%	34%
3. 月に1回から3回	27%	20%	15%	21%
4. 利用したことがない	2%	0%	0%	1%

問3. 利用しない場合、その理由として当てはまる項目すべての番号に○をつけてください。

回答項目	西小	南小	東小	総計
1. 保護者の仕事が休みなど、預ける理由がないから	18%	39%	18%	25%
2. 迎えの時間に合わないから	11%	20%	26%	18%
3. 習い事や他の用事があるから	67%	71%	82%	73%
4. 児童館など、他の施設で過ごしているから	9%	2%	5%	6%
5. その日のプログラムに、お子様が関心を持っていないから	38%	41%	15%	32%
6. その他	9%	5%	10%	8%

問4. どんなプログラムがあったらよいと思いますか？

当てはまる項目すべての番号に○をつけてください。

回答項目	西小	南小	東小	総計
1. 体を動かすもの(校庭や体育館でドッジボール、サッカーなど)	82%	80%	95%	86%
2. 学校での勉強に役立つもの(宿題、国語や算数のプリントなど)	40%	44%	44%	42%
3. 工作など、物作り	87%	83%	97%	89%
4. クイズやパズルなど、頭を使うもの	58%	80%	82%	73%
5. その他	11%	10%	18%	13%

問5. 長期休業中(夏休みなど)に放課後子ども教室に参加したことはありますか？

回答項目	西小	南小	東小	総計
1. はい	60%	59%	46%	55%
2. いいえ	40%	39%	67%	48%

いいえの方は、その理由として当てはまる項目すべての番号に○をつけてください。

回答項目	西小	南小	東小	総計
(1) 夏休み中は保護者の仕事が休みなど、預ける理由がないから	7%	7%	10%	8%
(2) 児童館昼食利用など、他の事業で足りているから	2%	5%	5%	4%
(3) 開室の時間帯が生活に合わないから	29%	32%	44%	34%
(4) 送ることができないから	20%	17%	33%	23%
(5) 迎えに行くことができないから	2%	7%	8%	6%
(6) その他	2%	7%	28%	12%

放課後子ども教室児童アンケート

(比率は回答÷今回の回答者数で算出)

学年	西小	南小	東小	総計
1年生	28%	34%	40%	34%
2年生	45%	36%	32%	37%
3年生	23%	14%	16%	18%
4年生	2%	14%	10%	9%
5年生	2%	2%	0%	1%
6年生	0%	0%	2%	1%

問1. 参加して、楽しいことはなんですか？

回答項目	西小	南小	東小	総計
1 体験プログラム(体験活動・体験タイム・チャレンジ)	87%	90%	82%	86%
2 お友達とすごすこと	72%	90%	82%	82%
3 先生とすごすこと	34%	46%	42%	41%
4 一人ですごすこと	17%	10%	16%	14%
5 その他	13%	6%	8%	9%

問2. どんなプログラムがあったらうれしいですか？

回答項目	西小	南小	東小	総計
1 体を動かす(校庭でサッカー、ドッジボールなど)	57%	72%	60%	63%
2 勉強(国語、算数など)	26%	24%	24%	24%
3 工作など、ものをつくる	64%	76%	74%	71%
4 クイズやパズルなど	70%	64%	64%	66%
5 その他	19%	2%	8%	10%

問3. 夏休みなどの長いお休みのときの放課後子ども教室の参加について、
自分の気持ちとしてはどちらですか？

回答項目	西小	南小	東小	総計
1 参加したいと思っている	70%	74%	56%	67%
2 参加したいと思わない	23%	22%	44%	30%